

平成 28 年度
事業報告書

社会福祉法人 豊肥福社会

事業報告

1. 法人運営報告

社会福祉法人豊肥福祉会は、昭和60年12月10日に竹田市三宅に事務所を置き障害者福祉事業を開始いたしました。

平成28年度は、4月には、隣県熊本県で大震災、5月には相模原での障害者殺傷事件という悲しい出来事が立て続けにありました。関係者の皆様のご冥福をお祈りします。熊本隣県にあります竹田市のびる園でも震度5という地震で、グループホーム利用者さんとともに3日ほど近隣の小学校へ避難いたしました。老朽化の進むのびる園とグループホームの怖さを改めて実感する体験となりました。豊肥福祉会では、全ての自然災害に対応できる対策や不審者の侵入を防ぐ対策について見直しを行い、具体的には、マニュアル作成、緊急用品の確保、防犯カメラの設置、防犯用品の購入などに取り組みました。

また、財政的にも大変過渡期で厳しい中、また福祉職離れの進む中、重点目標①質の高いサービスの提供②地域福祉活動と地域への公益的な取組の推進③職員の確保と人材育成④経営基盤の安定化を掲げ、苦慮工夫しながら取り組んで参りました。

新拠点といたしましては、4月に大分市内に複合型施設「明日の輪」を開所いたしました。グループホーム40名という大分県下では最大級のグループホームであり、全個室冷暖房完備で清潔感にあふれ安心安全な環境の下で利用者さんや他関係機関からの利用希望の問い合わせは後を絶たない状況です。4月の地震時には特に大きな被害もなく、7月の水害では他施設からの避難先としての要請があり活用いたしました。地域からの期待は大きく年度末には40名の定員が満床となっている状況です。

9月の大分県監査指導では、3月まで介護サービスセンターはびねすとして使っておりました竹田市荻町高城にある基本財産(建物)について福祉事業として早急に活用するよう指導を受け、改修用途変更を行い12月にグループホームとしての指定を頂き活用しております。

また、社会福祉法人大改革に向け、ガバナンスの強化及び規模拡大を図るため、10月に本部事務局及び特定相談支援事業所のびる園を大分市内戸次に移転いたしました。また、平成29年4月開所に向け豊後高田市複合型施設「大樹」の開設準備に取り組みました。

平成29年度は、竹田市グループホームの拡大及び8月大分市戸次複合型施設の開所を予定しております。

基本理念であります、「利用者一人ひとりの意思と人権を尊重し、利用者一人ひとりが地域で幸せに暮らすことのできる社会を目指す」を形にすることが私たちのミッションであります。各拠点、課題はまだありますが、サービスの個別化による画一化、見える化を図り、大規模組織という強みを活かした経営に努めてまいります。

2. 事業

第二種社会福祉事業

ア 障害福祉サービス事業の設置経営

イ 特定相談支援事業の設置経営

ウ 障害児通所支援事業の設置経営

【拠点概要】

拠点名	住所名	事業名	定員
本部(事務局)	大分県大分市大字上戸次1322番地2		-
特定のびる園	大分県大分市大字上戸次1322番地2	特定相談支援事業	50名
のびる園	大分県竹田市大字三宅1559番地1	就労継続支援B型事業	20名
	大分県竹田市大字会々2575番地5	外部サービス利用型共同生活援助事業	16名
明日の輪	大分県大分市大字佐野4453番地	多機能事業 ・就労継続支援B型事業 ・生活介護事業 ・就労移行事業	46名 (30名) (6名) (10名)
	大分県大分市大字佐野4454番地の1	外部サービス利用型共同生活援助事業	40名
	大分県大分市大字佐野4454番地の1	短期入所空床型事業	-
	大分県大分市大字佐野4453番地	放課後デイサービス事業	10名

3.理事会・評議員会・監事監査開催状況

○監事監査 H28.5.24

○理事会

回数	開催日	議案	
第1回	H28.5.26	第1号議案	H27 事業報告及び決算報告の承認について
		第2号議案	H28 第1回補正予算案について
		第3号議案	諸規則の変更について
		第4号議案	賞与について
第2回	H28.7.15	第1号議案	介護サービスセンターはびねすの跡地利用について
		第2号議案	本部事務局の設置について
		第3号議案	諸規則の変更について
第3回	H28.8.26	第1号議案	施設長の任命について
		第2号議案	諸規則の変更について
第4回	H28.10.14	第1号議案	大分県監査指導結果について
		第2号議案	理事長職務代行者の任命について
		第3号議案	諸規則の変更について

第5回	H28.12.5	第1号議案	H28 第2回補正予算案について
		第2号議案	定款変更について
		第3号議案	新規事業について
		第4号議案	評議員選任・解任委員会運営規則の整備について
		第5号議案	賞与について
第6回	H29.2.24	第1号議案	評議員選任・解任委員の任命について
		第2号議案	新規事業について
		第3号議案	施設長の任命について
		第4号議案	諸規則の変更について
第7回	H29.3.22	第1号議案	H29 事業計画案について
		第2号議案	H29 当初予算案について
		第3号議案	評議員の推薦について

○評議員会

回数	開催日	議案	
第1回	H28.5.26	第1号議案	H27 事業報告及び決算報告について
		第2号議案	H28 第1回補正予算案について
第2回	H28.12.5	第1号議案	H28 第2回補正予算案について
		第2号議案	定款変更について
第3回	H29.3.22	第1号議案	H29 事業計画案について
		第2号議案	H29 当初予算案について

○評議員選任・解任委員会

回数	開催日	議案	
第1回	H29.3.29	第1号議案	評議員の選任について

4. 法人変更登記

平成28年5月30日登記 資産の総額変更

平成29年2月6日登記 目的の変更(老人等居宅介護事業及び収益事業の廃止による)

5. 施設整備又は重要な修繕等

平成29年4月1日 複合型障害者施設「大樹」 開設準備

竹田市荻町高城1173番地1の基本財産等をグループホーム母家として活用するための改修

8. 支援計画

①サービス利用計画書

- ・より細かいアセスメントを行い利用者のニーズを優先し、利用者の自立に向けよりよいサービスが提供できるサービス利用計画書を作成しました。
- ・サービス担当者会議を開催しました。
- ・モニタリングを行いました。

② 個別支援計画

- ・本人重要視 ・本人主義 ・本人の言葉を聞き取りました。
- ・差別や偏見から本来有している力を発揮しきれない状態にある人に対しその力を引き出すための援助(エンパワメント)を行いました。

- ・利用者の持つ強さ、良さ、長所、コンピテンス(潜在能力)、潜在性を引き出す ・ひとつの行動を肯定的にみました。
- ・利用者の主体性を尊重し、持てる能力や可能性を最大限に引き出す支援が重要。
- ・相談支援専門員からのサービス利用計画書に従って、具体的な個別支援計画を策定しました。
- ・利用者と十分な話し合いの上での同意に基づき、入所時、入所時以降4月と10月に個別支援策定会議を開催し、個別支援計画書の策定・見直しを行いました。
- ・利用者のニーズを優先し、利用者一人ひとりの特性にあった支援計画を策定しました。

③ 支援内容(生活支援、作業支援)

- ・個別支援計画に沿って適切な支援を根気よく継続して行いました。
- ・利用者個々の意向・適性・作業能力等に加え、高齢化・重度化・重複化を勘案し、適切な作業訓練と生活支援を行いました。
- ・利用者やその家族の意向、ニーズに基づいて一般就労に向けた支援を行いました。

④ 関係機関との連携

- ・各機関の保持する情報を共有し、役割と責任が適切に分担されることで、支援の内容が充実し、さらに、定期的な顔合わせによって、機関相互の理解が進み、そのことがお互いに支え合う関係につながることで、関係職員等のメンタルケアにもつながるため、関係機関と密な連携を図ることに努めました。

9. 事業所運営管理

①個人情報保護等

- ・個人情報保護等に関する法令、その他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めました。
- ・個人情報の利用目的を特定し、公正かつ適切に取り扱いました。

② 法令遵守

- ・法令の遵守はもとより、社会規範、慣習等のルール・精神を尊重し、社会的良識をもって行動しました。

③ 苦情解決の取り組み

- ・苦情処理体制を整備・拡充し、苦情の際には速やかに必要に応じた対応を行いました。

リスクマネジメントの取り組み

- ・事故原因の分析と対応策を考え、危険に対する「気づき」の視点を学びました。

④ 虐待防止について

- ・年に1回以上虐待防止委員会を開催し、年に3回以上虐待防止に関する研修を行いました。常に相手の立場に立ち、適切な支援を心がけます。4月と10月にセルフチェックを行いました。

⑤ 環境整備

- ・危険因子の排除や環境改善、設備機器等の点検等を適時実施し、作業・生活面の両面において日常的な安全意識の高揚により、作業事故、車両事故等の防止に努めました。
- ・環境整備の取り組みとして、施設内外の清掃を毎日行い、年に2回大掃除を行い、安全・快適な環境づくりと環境美化に対する意識の高揚に努めました。

⑥ 衛生管理

- ・日常の健康チェック等を通して、利用者の心身状態の把握に努め、疾病等の早期発見・早期治療の働きかけを行いました。
- ・インフルエンザ予防接種の推進・引率を行うほか感染症の発生・まん延防止に努めました。

⑦ 非常災害対策

・火災・震災・風水害を想定した避難訓練を毎月一回行い、年に1回消防署立会のもと消防実地訓練を行い、防災意識の啓発と災害発生時の対応に備えました。

⑧ 家族との連携

・適切な支援と健全な育成を図るためには、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持することに努めました。

⑨ 地域との連携

・地域で開催される諸行事や当法人の行事への相互交流を通して、地域住民と利用者とのふれあいを深め、相互補完による地域福祉の充実強化を図りました。

⑩ 職員健康管理

・健康管理には十分留意し、年1回健康診断を実施し健康維持・生活習慣病予防に努めました。

4. 行事

実施月	のびる園	明日の輪
4	総会、花見	原尻の滝、丹生地区春祭り参加
5	くじゅう花公園見学	焼肉
6	買い物実習、利用者健康診断	防火訓練
7	スタミナ会	岳切溪谷
8		どんこの里見学、アフリカンサファリ
9		丹生地区バザー参加
10	慰安日帰りツアー	吉四六ツアー
11	かぼす慰労会	大分市福祉まつり参加
12	収穫祭、買い物実習	クリスマスバザー
1	初詣	
2	節分豆まき	防火訓練
3	買い物実習	

5. 研修

実施月	のびる園	明日の輪
4	防災について	
5	人格障害について	
6	人権について	
7	障害者の虐待について	熱中症について
8	感染症について	看護研修
9	場面緘黙とは	ヒヤリ・インシデント
10	ストレングスについて	会計について、感染症
11	インフルエンザについて	感染症予防、虐待、災害、対応困難
12		強度行動障害、メンタルヘルス
1		福祉コンプライアンス
2		
3		社会福祉基本理念

決 算 報 告 書

(自) 平成 28 年 4 月 1 日
(至) 平成 29 年 3 月 31 日

社会福祉法人豊肥福祉会

法人単位資金収支計算書

(自)平成28年 4月 1日 (至)平成29年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会

(単位： 円)

勘定科目		予算	決算	差異	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	10,720,000	7,240,531	3,479,469	
	障害福祉サービス等事業収入	157,830,000	131,546,401	26,283,599	
	経常経費寄附金収入	0	42,500,000	Δ 42,500,000	
	受取利息配当金収入	40,000	1,713	38,287	
	その他の収入	2,720,000	3,848,628	Δ 1,128,628	
	事業活動収入計	171,310,000	185,137,273	Δ 13,827,273	
	支出				
	人件費支出	131,615,000	109,381,666	22,233,334	
	事業費支出	19,900,000	19,596,434	303,566	
施設整備等による収支	事務費支出	47,725,000	57,899,304	Δ 10,174,304	
	就労支援事業支出	10,720,000	6,416,061	4,303,939	
	支払利息支出	600,000	599,426	574	
	事業活動支出計	210,560,000	193,892,891	16,667,109	
	事業活動資金収支差額	Δ 39,250,000	Δ 8,755,618	Δ 30,494,382	
	収入				
	固定資産売却収入	0	2,796,460	Δ 2,796,460	
	施設整備等収入計	0	2,796,460	Δ 2,796,460	
	支出				
	固定資産取得支出	3,000,000	0	3,000,000	
その他の活動による収支	施設整備等支出計	3,000,000	0	3,000,000	
	施設整備等資金収支差額	Δ 3,000,000	2,796,460	Δ 5,796,460	
	収入				
	長期運営資金借入金収入	30,000,000	0	30,000,000	
	その他の活動収入計	30,000,000	0	30,000,000	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	357,000	Δ 357,000	
	積立資産支出	750,000	463,632	286,368	
	その他の活動支出計	750,000	820,632	Δ 70,632	
	その他の活動資金収支差額	29,250,000	Δ 820,632	30,070,632	
予備費支出		0	—	0	
当期資金収支差額合計		Δ 13,000,000	Δ 6,779,790	Δ 6,220,210	

前期末支払資金残高	57,449,934	57,449,934	0	
当期末支払資金残高	44,449,934	50,670,144	Δ 6,220,210	

法人単位事業活動計算書

(自)平成28年 4月 1日 (至)平成29年 3月31日

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会

(単位： 円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	0	9,861,848	△ 9,861,848
	就労支援事業収益	7,240,531	5,219,291	2,021,240
	障害福祉サービス等事業収益	131,546,401	46,802,361	84,744,040
	経常経費寄附金収益	42,500,000	90,000	42,410,000
	サービス活動収益計	181,286,932	61,973,500	119,313,432
	人件費	109,845,298	42,390,173	67,455,125
	事業費	19,596,434	5,015,376	14,581,058
	事務費	57,899,304	22,944,833	34,954,471
	就労支援事業費用	6,416,061	5,241,162	1,174,899
	減価償却費	3,943,691	6,945,572	△ 3,001,881
サービス活動増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,511,949	△ 3,613,247	1,101,298
	サービス活動費用計	195,188,839	78,923,869	116,264,970
	サービス活動増減差額	△ 13,901,907	△ 16,950,369	3,048,462
サービス活動増減の部	受取利息配当金収益	1,713	6,674	△ 4,961
	その他のサービス活動外収益	3,848,628	823,617	3,025,011
	サービス活動外収益計	3,850,341	830,291	3,020,050
	支払利息	599,426	115,297	484,129
	サービス活動外費用計	599,426	115,297	484,129
	サービス活動外増減差額	3,250,915	714,994	2,535,921
	経常増減差額	△ 10,650,992	△ 16,235,375	5,584,383
特別増減の部	固定資産売却益	68,125	0	68,125
	特別収益計	68,125	0	68,125
	固定資産売却損・処分損	7,645	0	7,645
	特別費用計	7,645	0	7,645
	特別増減差額	60,480	0	60,480
	当期活動増減差額	△ 10,590,512	△ 16,235,375	5,644,863
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	△ 24,971,211	△ 8,735,836	△ 16,235,375
	当期末繰越活動増減差額	△ 35,561,723	△ 24,971,211	△ 10,590,512
	基本金取崩額	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	0	0
	その他の積立金積立額	0	0	0
	次期繰越活動増減差額	△ 35,561,723	△ 24,971,211	△ 10,590,512

法人単位貸借対照表

平成29年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人豊肥福祉会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	59,431,299	64,302,008	△ 4,870,709	流動負債	8,761,155	6,852,074	1,909,081
現金預金	30,985,329	51,376,188	△ 20,390,859	未払金	8,761,155	6,701,054	2,060,101
未収金	27,013,666	11,574,345	15,439,321	預り金	0	7,000	△ 7,000
預託金	56,470	56,470	0	仮受金	0	144,020	△ 144,020
仮払金	1,375,834	1,295,005	80,829				
固定資産	62,351,313	69,021,312	△ 6,669,999	固定負債	30,788,352	31,135,680	△ 347,328
基本財産	60,177,660	63,049,678	△ 2,872,018	長期運営資金借入金	29,643,000	30,000,000	△ 357,000
土地	3,500,000	3,500,000	0	退職給付引当金	1,145,352	1,135,680	9,672
建物	56,677,660	59,549,678	△ 2,872,018	負債の部合計	39,549,507	37,987,754	1,561,753
その他の固定資産	2,173,653	5,971,634	△ 3,797,981	純 資 産 の 部			
建物	46,918	609,295	△ 562,377	基本金	83,469,867	83,469,867	0
構築物	4	4	0	国庫補助金等特別積立金	34,324,961	36,836,910	△ 2,511,949
機械及び装置	327,972	627,002	△ 299,030	その他の積立金	0	0	0
車輛運搬具	98,583	3,012,139	△ 2,913,556	次期繰越活動増減差額	△ 35,561,723	△ 24,971,211	△ 10,590,512
器具及び備品	231,324	264,014	△ 32,690	(うち当期活動増減差額)	△ 10,590,512	△ 16,235,375	5,644,863
権利	73,500	73,500	0	純資産の部合計	82,233,105	95,335,566	△ 13,102,461
出資金	250,000	250,000	0				
退職給付引当資産	1,145,352	1,135,680	9,672				
資産の部合計	121,782,612	133,323,320	△ 11,540,708	負債及び純資産の部合計	121,782,612	133,323,320	△ 11,540,708